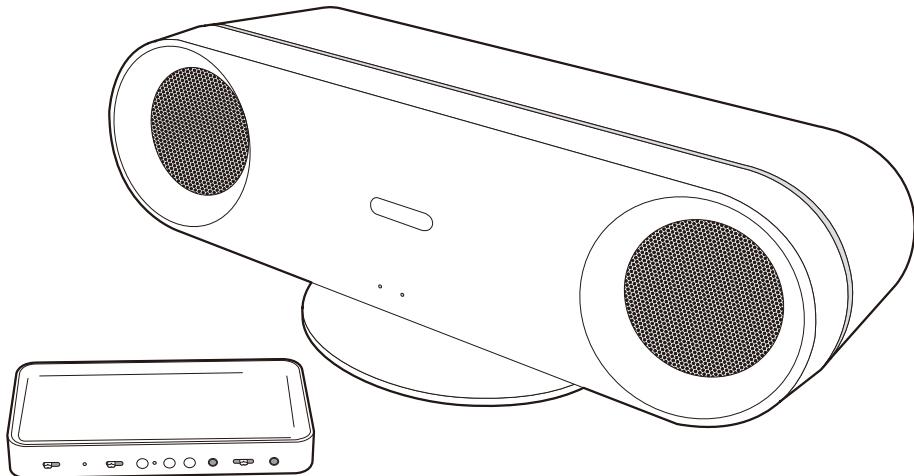


maxell

HiFiReverb
デジタルワイヤレス・アクティブスピーカー
MXSP-HF5000

取扱説明書

Ver. 1.0

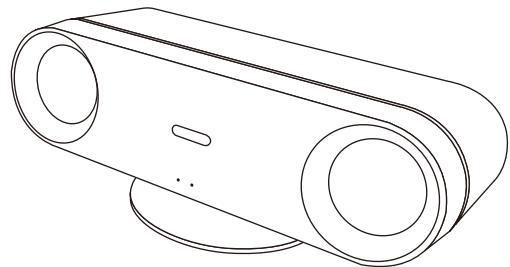


目次

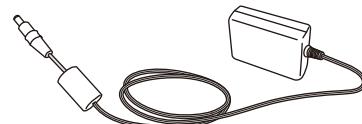
1.梱包品の確認	2
2.はじめに	3
3.安全上のご注意	4
4.特長	9
5.各部の名称と機能	10
6.接続する	12
7.接続した機器の音声を聞く	14
8. HIFIREVERBをマニュアル設定する	17
9. その他の接続のしかた	18
10.故障かな?と思ったときは	19
11.主な仕様	20
12.保証とアフターサービス	21
巻末 製品保証書	

このたびはマクセル製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全に
お使いください。
また、この取扱説明書(保証書を含みます)は大切に保管してください。

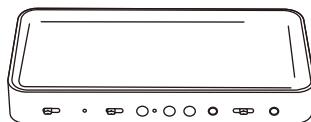
1. 梱包品の確認



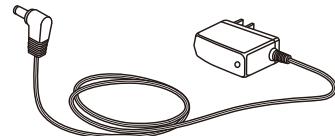
スピーカー本体 × 1



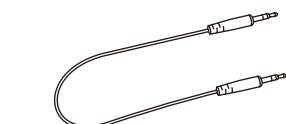
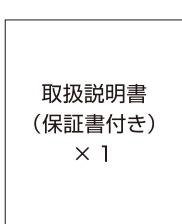
スピーカー用ACアダプタ × 1



コントローラー本体 × 1



コントローラー用ACアダプタ × 1



直径3.5mmステレオミニプラグ
ケーブル(約20cm) × 1

2. はじめに

取扱説明書をお読みになるにあたって

- この取扱説明書については、将来予告なしに変更することがあります。
- 製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
- この取扱説明書につきましては、万全を尽くして製作しておりますが、万一ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- この取扱説明書の一部または全部を無断で複写することは、個人利用を除き禁止されております。また無断転載は固くお断りします。

免責事項(保証内容については保証書をご参照ください)

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 保証書に記載されている保証がすべてであり、この保証の外は、明示の保証・默示の保証を含め、一切保証しません。
- この取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続機器との組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送用機器など人命に係わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故、火災事故などが発生した場合、当社は一切責任を負いません。
- 本製品は日本国内仕様です。日本国外での使用に関し、当社は一切責任を負いません。

3. 安全上のご注意

安全にお使いいただくために必ずお守りください。

表示の説明

	「誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷 ^{*1} を負うことがあり、かつ、その度合いが高いこと」を示します。
	「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷を負う可能性があること」を示します。
	「誤った取り扱いをすると人が傷害 ^{*2} を負う可能性または物的損害 ^{*3} が発生する可能性があること」を示します。

*1:重傷とは、失明やけが、やけど、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを示します。

*2:傷害とは、治療に入院や長期の通院を要しない、けが・やけど・感電を示します。

*3:物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかる拡大損害を指します。

絵表示の例		△記号は製品の取り扱いにおいて、発火、破裂、高温等に対する注意を喚起するものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。
		○記号は製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止するものです。具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。
		●記号は製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制するものです。具体的な強制内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。

警告	
水にぬらさないでください。	風呂場、台所、海岸、水辺、屋外では使用しないでください。また加湿器を過度に効かせた部屋や、雨・雪・水がかかる場所での使用は特にご注意ください。火災・感電の原因になるおそれがあります。
修理や改造、または分解しないでください。	火災・感電、またはけがをするおそれがあります。修理や改造、分解に起因する物的損害について、当社は一切責任を負いません。また、修理や改造、分解に起因する故障に対する修理は保証期間内であっても有料となります。
異常時は電源プラグをコンセントから抜いてください。	煙が出た場合、変なにおいや音がする場合、水や異物が内部に入った場合、本機器を落とさせた場合はすぐに電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災・感電などの原因になるおそれがあります。
いたんだ電源コードは使用しないでください。	電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったりしないでください。また重いものをのせたり、本体の下敷きにならないようにしてください。芯線が露出したり断線した場合は、必ず新品のコードに交換してください。そのまま使用すると火災・感電などの原因になるおそれがあります。

警告	
誤った方法で設置・使用しないでください。	● 本機をさかさまにしたり、風通しの悪い場所で使用したりしないでください。 ● 通気性の悪い場所へ押し込まないでください。
雷が鳴り出したら使用しないでください。	感電の原因になるおそれがあります。
指定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。	本機ACアダプタの指定電源電圧は交流100~240ボルトです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。感電・火災の原因になるおそれがあります。
本機の落下時、破損時は必ず販売店に点検を依頼してください。	そのまま使用すると、感電・火災の原因になるおそれがあります。
電源プラグにホコリがつかないようにして下さい。	電気の火花がホコリに引火し、火災の原因になるおそれがあります。定期的にゴミやホコリを取り除いてください。
電源プラグは目に見える位置で、手が届きやすいコンセントに差し込んでください。	万一の際、すぐに電源プラグを引き抜けるようにしてください。
本機の上にものを見かないでください。	本機の上に花びんや植木鉢、化粧品や薬品、飲料水などが入った容器、ろうそく、および小さな貴金属やプラスチック、木片などを置かないでください。水や異物の混入は感電・火災の原因になるほか、接触面の外装を破損するおそれがあります。
濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。	感電の原因になるおそれがあります。
湿気やほこりの多い場所へ置かないでください。	加湿器のそばや調理台の近く、その他ホコリの多い場所に設置しないでください。回路がショートして、火災・感電の原因となるおそれがあります。
ACアダプタを布やカバーで覆わないでください。	熱がこもり、ケースが変形し、火災・感電の原因となるおそれがあります。
専用のACアダプタ以外を使用しないでください。	火災・感電の原因となるおそれがあります。
電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。	差し込みが不十分のまま使用すると、感電やホコリの堆積による火災の原因となるおそれがあります。

⚠ 警告

ゆるみのあるコンセントは使用しないでください。

電源プラグを差し込んだ時、ゆるみがあるコンセントは使用しないでください。火災・感電の原因となるおそれがあります。



電源コードを引っ張らないでください。

コードが傷つき、感電・火災の原因となる場合があります。引き抜く場合にはプラグ部分を持って行ってください。



長時間音が歪んだ状態で使用しないでください。

スピーカーが発熱し火災の原因になるおそれがあります。



⚠ 注意

不安定な場所へ置かないでください。

ぐらついた台の上や傾いた場所などに置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因になるおそれがあります。



直射日光があたる場所や、異常に温度が高くなるところへ置かないでください。

機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になります。夏の閉め切った自動車内や直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。



薬物を使用しないでください。

ベンジン、シンナー、合成洗剤などで外装を拭かないでください。また接点復活剤を使用しないでください。外装が劣化するほか、部品が溶解するおそれがあります。



お手入れの際、長期間使用しない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

安全のため、電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。



外部機器の接続には取扱説明書をよくお読みください。

本機および、各機器の取扱説明書をよく読み、電源を切った状態で接続してください。



環境気温の急激な変化で、本機に結露が発生する場合があります。

正常に作動しない場合は、電源を入れない状態でしばらく放置してください。



近くにブラウン管を置かないでください。

色ムラがおきる場合があります。



小さなお子様の手が届かないように本製品を配置してください。



電池についての安全上の注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記注意事項を必ずお守りください。

⚠ 危険

電池が液漏れしたとき

電池の液が漏れたときは素手で液をさわらないでください。液が目に入ったときは、失明の原因になることがありますので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、速やかに医師の診断を受けてください。液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になることがありますので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状が現われたときには、ただちに医師の治療を受けてください。



⚠ 警告

機器の表示に合わせ、+と-を正しく入れてください。



火、水の中に入れないでください。



充電しないでください。



分解、加熱しないでください。



コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しないでください。



液漏れした電池は使わないでください。



使いきった電池は取り外してください。



長期間使用しないときも取り外してください。

指定された電池以外は使用しないでください。



4. 特長

ワイヤレス機器の使用上のご注意

本機は2.4GHzの周波数帯を使用しています。この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 1.本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2.万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用場所を変更するか、または電波の発射を停止してください。
- 3.その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社お客様ご相談センターまでお問い合わせください。弊社お客様ご相談センターは本紙の21ページをご参照ください。
- 4.本機は電波法に基づく小電力データ通信システムとして認証を受けています。したがって、本機の使用について無線局の免許は必要ありません。ただし製品の分解や改造、認証ラベルをはがすことは禁止されています。
- 5.病院内や鉄道車内の優先席など携帯電話やワイヤレス機器の使用が禁止されている場所ではワイヤレスを使用しないでください。このような場所ではワイヤレススイッチを切り、有線によるアナログ伝送を行ってください。

●HIFIREVERB搭載

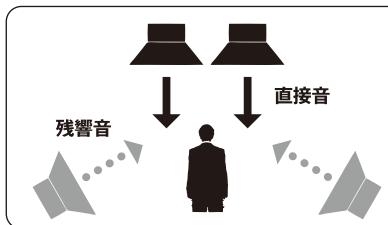
残響分離機能とバーチャルサラウンド技術を融合し、ホールやスタジオで聴いているようなリアルな音響空間を実現します。



直接音 + 残響音

分離

直接音 残響音



※HIFIREVERBはNTTエレクトロニクス株式会社の技術を使用しています。

●2.4GHz非圧縮デジタルワイヤレス伝送

コントローラーからスピーカーまで非圧縮でデジタルワイヤレス伝送し、CDを凌ぐ音質での伝送を実現しています。

●ステレオミニプラグで簡単接続

スマートフォンやオーディオプレイヤーがステレオミニプラグで簡単に接続できます。

●ヘッドホンも使用可能

ライン出力に接続し、お手持ちのヘッドホンでもリアルな音を楽しめます。

残響とは直接音が壁や床や天井で反射した音のことです。

この残響音が直接音に加わることにより、歌声や楽器の音色をより豊かにする効果があります。

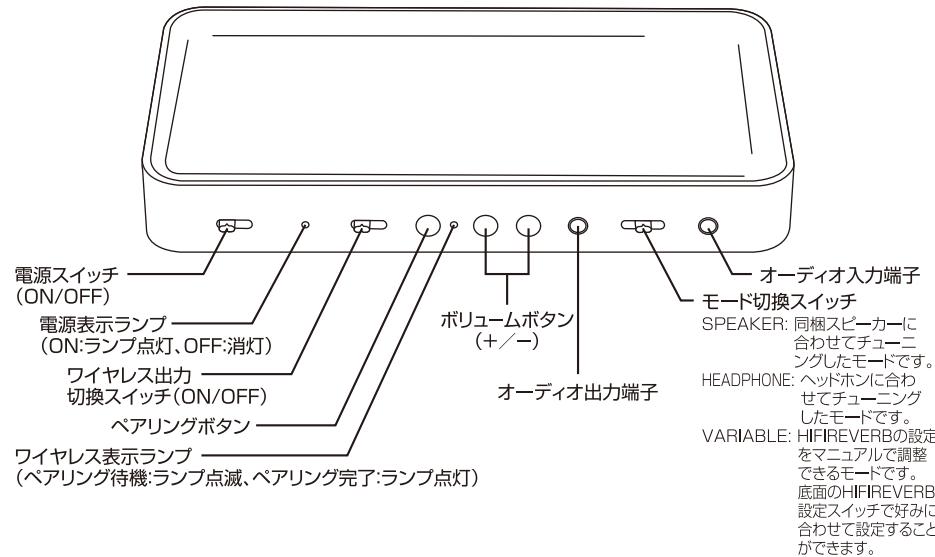
残響分離技術では、直接音と残響音を分離します。

バーチャルサラウンド技術では、直接音を前方から、残響音を周辺から聴こえるように再生し、ホールやスタジオで聴いているようなリアルな音響空間を実現します。

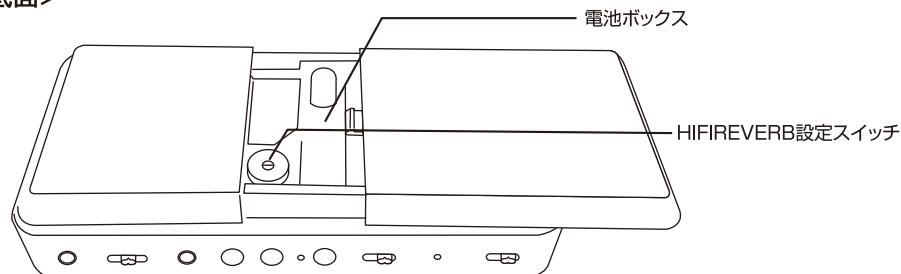
5. 各部の名称と機能

コントローラー

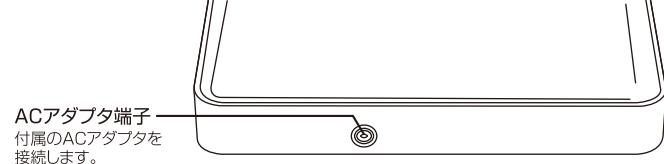
<正面>



<底面>

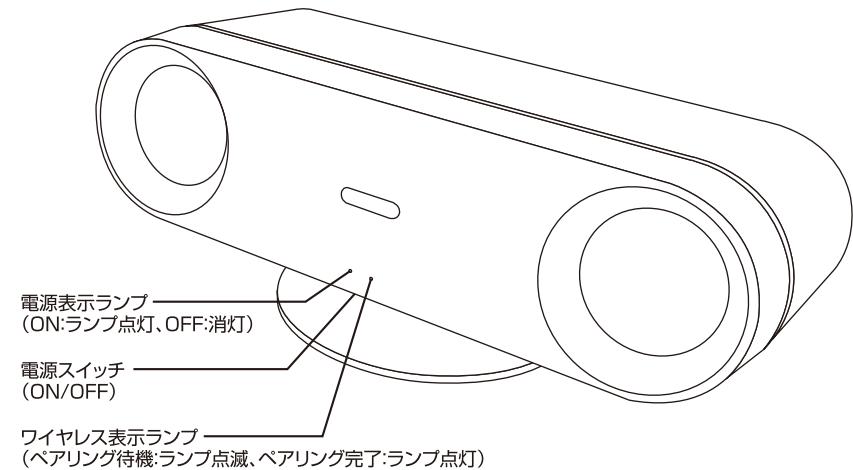


<背面>



スピーカー

<正面>



<背面>



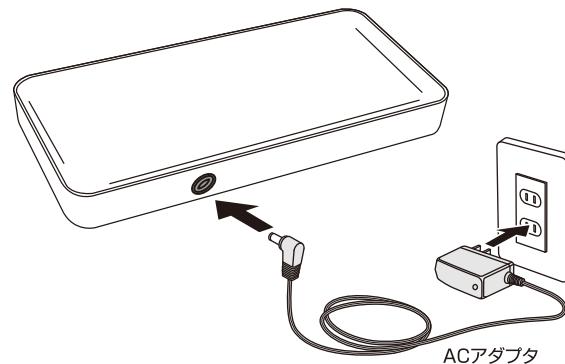
6. 接続する

コントローラー

1. ACアダプタを接続します。または電池を入れます。

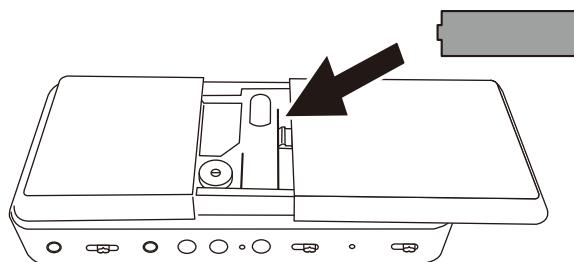
ACアダプタを接続する場合は、本体背面のACアダプタ端子に付属のACアダプタを接続します。

警告:付属のACアダプタ以外は使用しないでください。



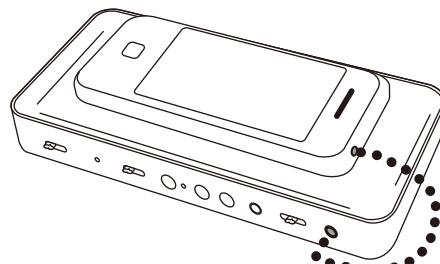
電池を入れる場合は、底面のフタを開け、電池を入れてください。

警告:機器の表示に合わせ、電池の+と-を正しく入れてください。



2. 再生するオーディオ機器を接続します。

付属の直径3.5mmステレオミニプラグケーブルの一方を前面のオーディオ入力端子(LINE IN)に接続し、もう一方をお手持ちのオーディオ機器に接続します。

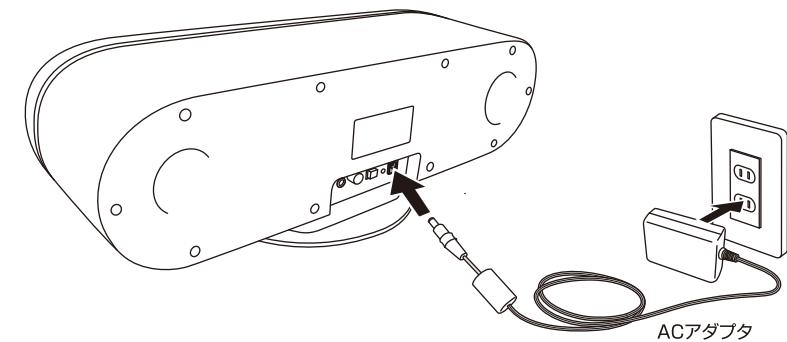


スピーカー

1. ACアダプタを接続します。

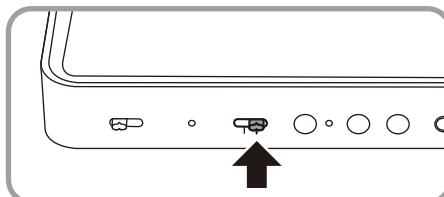
本体背面のACアダプタ端子に付属のACアダプタを接続します。

警告:付属のACアダプタ以外は使用しないでください。

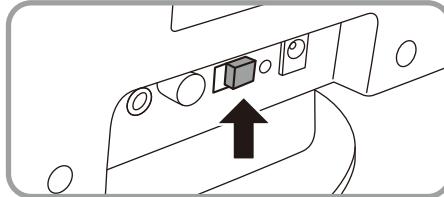


7. 接続した機器の音声を聞く

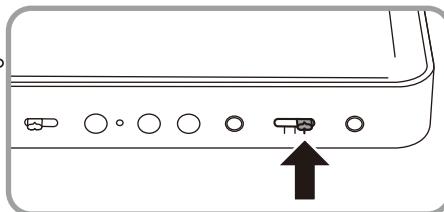
1. コントローラーのワイヤレス出力切換スイッチをONにします。



2. スピーカーの入力切換スイッチをワイヤレス(WIRELESS)にします。

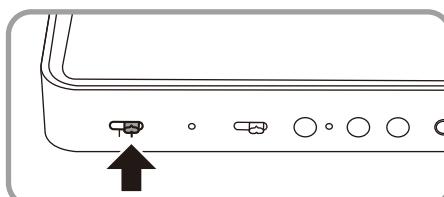


3. コントローラーのモード切換スイッチをSPEAKERとします。

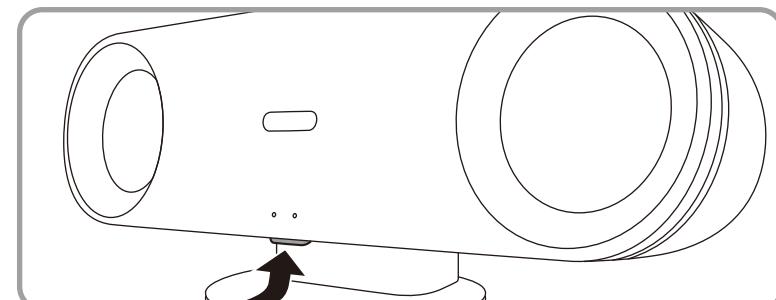


4. 再生する機器の電源を入れます。

5. コントローラーの電源を入れます。

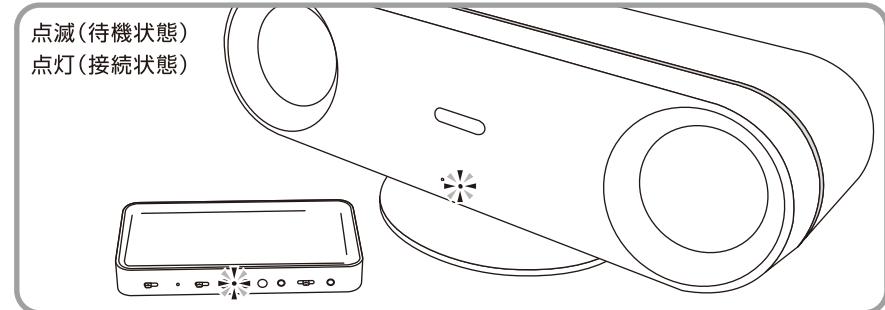


6. スピーカーの電源を入れます。



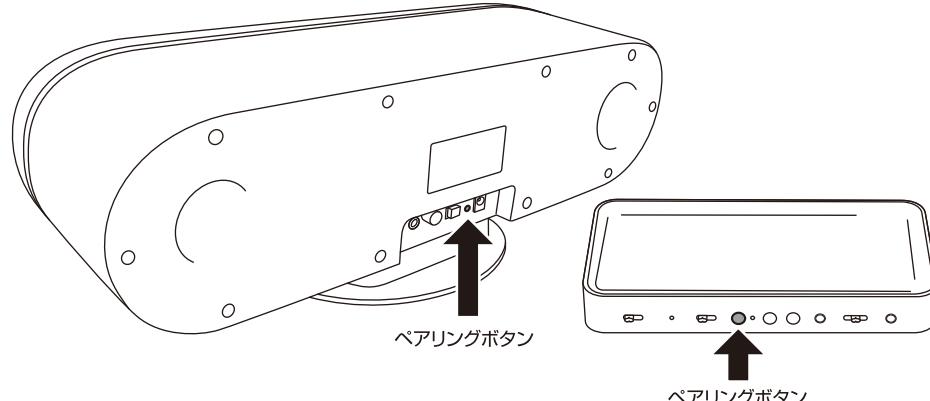
7. コントローラーとスピーカーのワイヤレス接続を確認します。

同梱のコントローラーとスピーカーは出荷前にワイヤレスの接続設定済みですので、電源を入れるとコントローラーおよびスピーカーのワイヤレス表示ランプが点滅したのち点灯状態となります。点灯状態となればワイヤレス通信機能が使用できます。



ただし、近くに別の送信機や電子レンジ等の送信源がある場合には、数分間経過してもワイヤレス表示ランプが点灯状態とならずワイヤレス接続ができない場合があります。この場合はワイヤレス通信設定(ペアリング)が必要となりますので以下の手順で設定してください。

- 1 コントローラーとスピーカーを近づけて設置します。
- 2 コントローラーのワイヤレス出力切換スイッチをONとします。
- 3 スピーカーの入力切換スイッチをワイヤレス(WIRELESS)とします。
- 4 コントローラーのペアリングボタン(PAIRING)を押して、ワイヤレス表示ランプが点滅することを確認してください。
- 5 コントローラーのペアリングボタン(PAIRING)を押したまま、スピーカーのペアリングボタン(PAIRING)を約3秒以上押してください。
- 6 コントローラーとスピーカーのペアリングボタン(PAIRING)を押すのをやめると、双方のワイヤレス表示ランプが常時点灯となりワイヤレス通信機能が使用できます。



8. HIFIREVERBをマニュアル設定する

8. 機器の音声を再生する。

コントローラーのボリュームボタンでお好みの音量に調整してください。
また再生機器にもボリュームがある場合には、機器のボリュームも合わせて調整してください。

※コントローラーからスピーカーまで電波の届く距離は約20mです。また、障害物で電波がさえぎられた場合は、電波の届く距離が短くなります。音声が途切れたりノイズが発生する場合は、障害物を取り除くかコントローラーやスピーカーの置く場所を移動してお使いください。

※本機の電波は2.4GHzの周波数帯を使用しています。同じ周波数帯を使用する無線機器や電子レンジなどを併用すると音声が途切れたりノイズが発生する場合があります。この場合は、コントローラーやスピーカー、無線機器や電子レンジの位置を移動してお使いください。

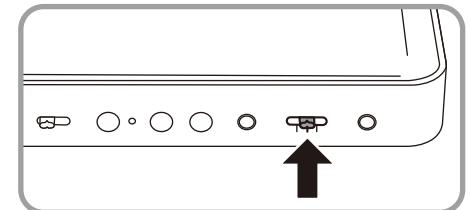
※無線機器や電子レンジなどとの併用で音声が途切れたりノイズが発生する場合、ワイヤレス通信設定ができない場合、病室などワイヤレスが禁止されている場所では、コントローラーとスピーカーのワイヤレスを切り、コントローラーの出力端子とスピーカーのオーディオ入力端子を付属のステレオケーブルなどで接続してご使用ください。

9. 聴き終えたら。

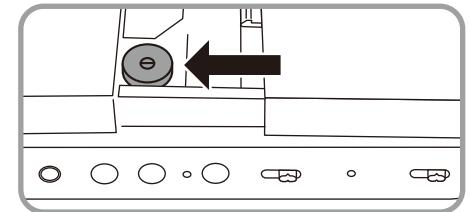
スピーカーとコントローラーの電源を切ります。
再生した機器の電源を切ります。

コントローラー底面のバッテリーカバーをはずすとHIFIREVERBの設定を調整できるスイッチがあります。このスイッチを切り換えることによって、両スピーカーの間隔や部屋の響き、再生する音源によってお好みのHIFIREVERB効果を選択することができます。

1. コントローラーのモード切換
スイッチをVARIABLEに
セットします。



2. コントローラー底面の
HIFIREVERB設定スイッチで
お好みの設定にセットします。



設定スイッチの説明

スイッチ位置	サラウンド設定	残響効果	主な用途
0	広い間隔の スピーカー	小 	スピーカー左右の間隔が広いスピーカーでサラウンド効果を設定しています。お手持ちのコンポなどに接続する場合の推奨設定となります。
1		大 	
2		小 	
3		大 	
4	狭い間隔の スピーカー (同梱スピーカー)	小 	スピーカー左右の間隔が狭いスピーカーでサラウンド効果を設定しています。同梱のスピーカーなどに推奨の設定となります。
5		大 	
6		小 	
7		大 	
8	ヘッドホン	小 	ヘッドホンやイヤホンで使用する場合のサラウンド効果を設定しています。
9		大 	
A		小 	
B		大 	
C	音源ダイレクト		HIFIREVERB効果の無い元の音を聴くことができます。
D	残響音のみ		残響音のみを聴くことができます。
E	直接音のみ(音楽用)		直接音のみを聴くことができます。
F	直接音のみ(会話・アナウンス用)		直接音のみを聴くことができます。

※スイッチの設定は目安となります。実際に音声を再生しながら試聴する部屋や音源に合わせてお好みの設定でお楽しみください。

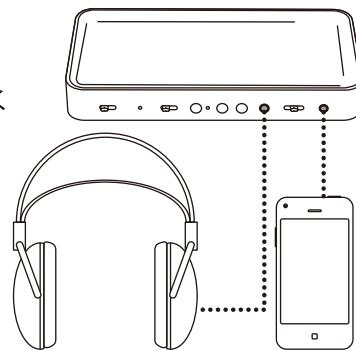
※残響およびバーチャルサラウンドの音響効果については、使用する音源により効果は異なることがあります。また効果の聽こえ方には個人差もあります。設定ポジションを変えて好みの効果を選択してお使いください。

9. その他の接続のしかた

1. コントローラーにお手持ちのヘッドホンを接続する。

コントローラーにお手持ちのヘッドホンを接続して聴くことができます。

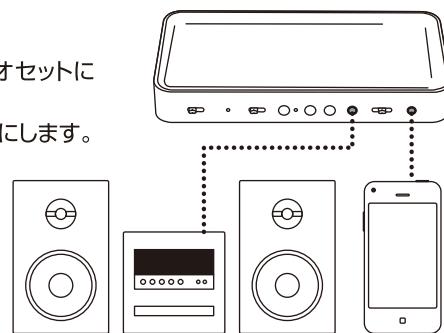
- 1 コントローラーのワイヤレス切換をOFFにします。
- 2 コントローラーのモード切換スイッチをHEADPHONEにします。
- 3 コントローラーのオーディオ出力端子(LINE OUT)にお手持ちのヘッドホンを接続します。



2. コントローラーにお手持ちのステレオセットを接続する。

コントローラーの出力をお手持ちのステレオセットに接続して聴くことができます。

- 1 コントローラーのワイヤレス切換をOFFにします。
- 2 コントローラーのモード切換スイッチSPEAKERにします。
- 3 コントローラーのオーディオ出力端子(LINE OUT)とお手持ちのステレオセットの音声入力端子を市販のケーブルで接続します。



3. コントローラーとスピーカーを有線で接続する。

コントローラーとスピーカーを有線で接続して聴くことができます。

- 1 コントローラーのワイヤレス切換をOFFにします。
- 2 コントローラーのモード切換スイッチをSPEAKERにします。
- 3 コントローラーのオーディオ出力端子(LINE OUT)とスピーカーのオーディオ入力端子(LINE IN)を市販のケーブルで接続します。

またモード切換でVARIABLEを選択すると、底面のHIFIREVERB設定スイッチでお好みの設定を選択することもできます。

4. スピーカーに直接再生機器を接続する。

スピーカーに直接機器を接続して聴くことができます。

この場合はコントローラーを使用しませんので、HIFIREVERBの音響効果はありません。

- 1 スピーカーのオーディオ入力端子(LINE IN)にお手持ちの再生機器を接続します。
- 2 音量はスピーカーのボリューム(VOL)で調節してください。

10. 故障かな？と思ったときは

「故障かな？」と思ったときは、下記の項目をチェックしてみてください。

症 状	対 策
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">・ACアダプタとコントローラーおよびスピーカーの接続を確認してください。・ACアダプタと電源ソケットの接続を確認してください。・コントローラーの電池の向きが正しいか確認してください。・コントローラーの電池が消耗していないか確認してください。・コントローラーの電源スイッチがONとなっているか確認してください。・スピーカーの電源がONとなっているか確認してください。
音がでない	<ul style="list-style-type: none">・再生する機器とコントローラーの接続を確認してください。・再生する機器の電源がONとなっているか確認してください。・再生する機器のボリュームを確認してください。・コントローラーのワイヤレス切換スイッチがONとなっているか確認してください。・コントローラーのワイヤレス表示ランプが点灯しているか確認してください。点滅している場合は、ペアリングボタンを押してください。・スピーカーのワイヤレス切換スイッチがWIRELESSとなっているか確認してください。・スピーカーのワイヤレス表示ランプが点灯しているか確認してください。点滅している場合は、ペアリングボタンを押してください。
音がひずむ、とぎれる	<ul style="list-style-type: none">・再生する機器の音量を下げてください。・再生する機器のバスブーストなどの機能をOFFにしてください。・コントローラーの電池が消耗していないか確認してください。・コントローラーの音量を下げてください。・電波の届く距離は約20mです。また、障害物で電波がさえぎられた場合は、電波の届く距離が短くなりますので、障害物を取り除くかコントローラーとスピーカーの位置を近づけてください。・周辺に2.4GHz帯の周波数を使用する無線や電子レンジなどの機器がないか確認してください。近くに設置されている場合は場所を移動してください。
ノイズが大きい	<ul style="list-style-type: none">・再生する機器とコントローラーの接続を確認してください。・再生する機器の音量を上げてください。・コントローラーの電池が消耗していないか確認してください。・周辺に2.4GHz帯の周波数を使用する無線や電子レンジなどの機器がないか確認してください。近くに設置されている場合は場所を移動してください。

動作や表示の問題が解決しない場合は、ACアダプタをはずして接続しなおしてみてください。
コントローラーとスピーカーの設定が初期状態にリセットされます。

11.主な仕様

コントローラー

型番	CR-HF5000
モード切換機能	3段切換(スピーカー、ヘッドホン、マニュアル設定)
残響レベルおよびサラウンド設定機能	残響レベル&サラウンド設定 15段階
ワイヤレス伝送周波数	2.404GHz～2.476GHz
ワイヤレス伝送サンプリング周波数	16bit/48kHz
ワイヤレス伝送距離	約20m
音声入力	直径3.5mmステレオミニプラグ
音声出力	2.4GHzワイヤレス、直径3.5mmステレオミニプラグ
電源	DC5V/0.6A(付属ACアダプタ)、単3形 乾電池×4本
外形寸法	幅 157 × 高さ 28 × 奥行き 78mm(突起部含まず)
質量	約140g(本体のみ)
付属品	ACアダプタ、ステレオミニプラグケーブル(約20cm)

スピーカー

型番	SP-HF5000
実用最大出力	15W+15W
スピーカーユニット	直径80mm×2
再生周波数特性	70Hz～20kHz
音声入力	2.4GHzワイヤレス、直径3.5mmステレオミニプラグ
電源	DC12V/2A(付属ACアダプタ)
外形寸法	幅 417 × 高さ 148 × 奥行き 180mm(突起部含まず)
質量	約2.1kg
付属品	ACアダプタ

●記載の内容は2012年2月現在のものです。

●製品の仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

12.保証とアフターサービス

■保証書について

保証書はかならず「販売店・お買い上げ日」などの記入を確かめて販売店からお受け取りください。また、保証書はよくお読みの上で、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

■本製品に関するお問い合わせ先

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

日立マクセル株式会社 | お客様ご相談センター
〒102-8521 TEL.(03)5213-3525
東京都千代田区飯田橋2-18-2 FAX.(03)3515-8261

<http://www.maxell.co.jp>

無料修理規定

1. 万一製造上の理由により本製品が故障した場合は、この保証書を添えてお買い上げ店にお届けください。正常なご使用状態で購入後1年以内であれば、当社にて無料で修理または交換いたします。なお、お届けいただく際の運賃などの諸費用はお客様にご負担願います。
2. 保証期間内でも次のような場合には有料になります。
 - 1)ご依頼の際、保証書の添付がない場合。
 - 2)使用上の誤り(取扱説明書、取扱上の注意事項以外の誤操作など)により生じた故障。
 - 3)修理・改造・分解などによる故障。
 - 4)お取り扱い上の不注意(落下、衝撃、水掛けかり、砂・泥の付着、機器内部への水、砂、薬品の入り込みなど)、手入れの不備(カビ発生、チリ・ホコリ等)による故障。
 - 5)本体以外の付属品および消耗品。
 - 6)一般用途以外(例えば、業務用の著しい連続使用、船舶への搭載など)に起因する損傷。
 - 7)故障の原因が本製品以外(供給電源など他の機器)にあって、それを点検・修理した場合などの損傷。
 - 8)前記以外で当社の責に帰すことのできない原因により生じた故障。
3. 本製品の故障に起因する二次的な損害(期待した利益の喪失、精神的な損害など)の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
4. 本保証書は日本国内のみにおいて有効です。

This warranty is valid only in Japan.